



# 会長企画セミナー／精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ／ ワークショップのご案内

事前申込制のセッションは席数に限りがございますので、ご参加の先生はお早めに会場にお越しください。参加者は原則として、最初から最後まで聴講できる方に限ります。途中の入退場はご遠慮ください。

一部のワークショップを除き、現地開催のみでオンデマンド配信はございませんので是非奮ってご参加ください。

会長企画セミナー						
	テーマ	コーディネーター	月日	時間	会場	事前申込
1	精神科医に必要な神経診察と鑑別のポイント－器質的疾患を見逃さないために	野川 茂 水野 雅文	6月20日(土)	9:00～12:30	G会場	○

精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ						
	テーマ	コーディネーター	月日	時間	会場	事前申込
1	マインドフルネス認知療法に取り組んでみる－理論と体験－	佐渡 充洋 二宮 朗	6月18日(木)	9:00～17:00	D会場	○
2	認知行動療法を体験しよう－デジタル技術を活用した基礎ワークショップ－	久我 弘典 浜村 俊傑	6月18日(木)	14:50～18:20	E会場	○
3	精神分析的な精神療法を治療者として体験してみよう	池田 暁史 加茂 聡子	6月18日(木)	9:00～12:30	L会場	○
4	内観療法の技法と体験	塚崎 稔 長田 清	6月18日(木)	14:50～18:20	L会場	○
5	森田療法体験ワークショップ	館野 歩 樋之口 潤一郎 岩木 久満子	6月19日(金)	9:00～16:00	D会場	○
6	機能評価ツール「Cognitive Assessment Interview(CAI)」ワークショップ:概説と面接実践	根本 隆洋 小野田 太郎	6月19日(金)	9:00～12:30	L会場	○
7	措置診察実践セミナー	新津 富央 藤井 千代 田所 重紀	6月19日(金)	14:40～18:10	L会場	○
8	「向き合う」ためのトラウマ診療12の基本	大江 美佐里 松本 和紀	6月20日(土)	9:00～12:30	D会場	○
9	患者さんの「はたらきたい」にどう応えるか? ～パーソナルリカバリーに伴走する 精神科医のための精神療法・心理療法アセスメント体験ワークショップ～	林 輝男 山口 創生	6月20日(土)	9:00～12:30	L会場	○

ワークショップ						
	テーマ	コーディネーター	月日	時間	会場	事前申込
1	複雑事例を通して学ぶ自殺予防のエッセンシャルズ(自殺予防に関する委員会)	河西 千秋 張 賢徳 大塚 耕太郎	6月18日(木)	9:50～12:30	H会場	○
2	映像で学ぶ初診面接－病識のない統合失調症編－(精神療法研修委員会)	今井 淳司 田中 裕記	6月18日(木)	14:25～16:05	H会場	
3	モーブレイ式神経性やせ症治療(MANTRA)ワークショップ	中里 道子 友竹 正人 水原 祐起	6月18日(木)	16:40～18:20	H会場	
4	性別不合に関する診断と治療のガイドラインに準拠した診療 ～精神科領域の診療と日本GI学会認定施設～(性別不合に関する委員会)	織田 裕行	6月18日(木)	14:25～16:05	M会場	○
5	認知症の人の意思決定支援(認知症委員会)	梅田 寿美代 橋本 衛	6月18日(木)	16:40～18:20	M会場	
6	そこが知りたい! 刑事精神鑑定3(司法精神医学研修委員会)	高信 径介 中岡 健太郎	6月19日(金)	8:40～10:20	H会場	
7	うつ病へのrTMS療法:実践課題の共有と解決にむけたディスカッション(精神科医療機器委員会)	高橋 隼 松田 勇紀	6月19日(金)	10:50～12:30	H会場	○
8	向精神薬の副作用のリスクシェアリング(その2):抗うつ薬,気分安定薬(薬事委員会)	稲垣 中 渡邊 衡一郎 橋本 亮太	6月19日(金)	14:15～15:55	H会場	○

	テーマ	コーディネーター	月日	時間	会場	事前申込
9	医学生・研修医の学習モチベーションに火をつける教育的関わり の模索(卒前医学教育・卒後臨床研修委員会)	松坂 雄亮 藤田 博一 植野 司	6月19日(金)	16:30~18:10	H会場	○
10	映画「どうすればよかったか？」から考える 日本のアンチステイグマ活動においてこれからはすべきこと(アンチステイグマ委員会)	今村 弥生 渡辺 雅子	<del>6月19日(金)</del>	<del>14:45~18:10</del>	<del>M会場</del>	<del>○</del>
11	児童精神科医療の治療論(1)(児童精神科医療研修委員会)	齊藤 まなぶ	6月20日(土)	8:40~10:20	H会場	
12	オンライン診療・臨床実践アップデート(医療DXに関する委員会)	高橋 一志 木下 翔太郎	6月20日(土)	10:50~12:30	H会場	○
13	医療保護入院制度をめぐる課題:現場の実践から制度のこれからを考える(精神保健福祉法委員会)	太田 順一郎 藤井 千代	6月20日(土)	14:15~15:55	H会場	
14	家族が元気になる精神科医療を行うために	浅見 隆康 神出 誠一郎	6月20日(土)	14:15~15:55	L会場	○



## 会長企画セミナー

### 精神科医に必要な神経診察と鑑別のポイント－器質的疾患を見逃さないために

6月20日(土) 9:00～12:30 G会場

司 会	(東海大学医学部附属八王子病院脳神経内科) (東京農工大学健康・相談総合支援機構)	野川 茂 色本 涼
講 演 者	(東海大学医学部附属八王子病院脳神経内科) (埼玉医科大学国際医療センター脳卒中内科・脳神経内科) (東京都立神経病院脳神経内科) (足利赤十字病院内科)	野川 茂 高橋 愼一 齋藤 勇二 後藤 淳
メインコーディネーター	(東海大学医学部附属八王子病院脳神経内科)	野川 茂
サブコーディネーター	(社会医療法人あさかホスピタル)	水野 雅文

精神症状を呈する患者では、その背後に器質的疾患が隠れていることも多く、例えばうつ病と誤診される脳腫瘍や甲状腺機能異常、認知症と鑑別を要する正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫など、多くの鑑別すべき病態が存在する。また、抗精神病薬による錐体外路症状など、薬剤性副作用として神経症状が出現してくることもしばしば経験される。そのような場合、神経学的所見や画像検査を含む補助的診断を用いて、いかに客観的に病態を鑑別するかが重要である。しかし、必ずしも精神科医が神経学的診察や補助的診断に十分に精通しているとは限らず、器質性疾患の見逃しや専門医への紹介の遅れが生じている可能性も否めない。そこで、本セミナーでは、精神科医に必要な神経所見のとり方と鑑別のポイントを、その分野に詳しい神経内科専門医に解説して頂き、精神科医療の質と安全性の向上を図ることを目的とした。

講演1では、まず救急外来で問題となる意識障害の発症機序を解説する。さらに、おおまかな神経診察と補助的診断の進め方を理解するために、中枢神経系と末梢神経系を連絡する3つの長索路、すなわち錐体路と2つの感覚伝導路(脊髄視床路および後索路)に関わる神経所見のとり方を学習する。講演2では、脳血管障害などによる古典的な症候群を例にとり、多くの神経核や小脳連絡路が密集する脳幹部の解剖学的ネットワークを復習する。また、ウェルニッケ脳症やバセドウ病などでみられる眼球運動障害や慢性アルコール中毒患者が呈する小脳症状や失調性歩行の特徴を学ぶ。講演3では、高次脳機能の所見のとり方について概説する。また、パーキンソン病・レビー小体型認知症における錐体外路症状のほか、非運動症状、および鑑別に有用なMIBG心筋シンチ・DATスキヤンの解釈についても学習する。さらに、抗アミロイドβ抗体薬の使用に際して必要な認知機能障害(MCI)の鑑別、アミロイドPETの読み方、アミロイド関連画像異常(ARIA)やアミロイド血管症のMRI所見について解説する。講演4では、意識障害、不随意運動、痙攣などを呈する患者における精神疾患と器質的疾患の鑑別、特に、解離性障害と脳炎、心因性非てんかん性発作(PNES)と真性てんかんについて解説する。また、その鑑別におけるBarre徴候、Hoover徴候の有用性についても触れる。以上の講演では、精神科医が自ら神経診察を行えるよう、なるべく実際の神経所見のとり方を解剖学的エッセンスを交えて解説する。このセミナーを通じて、精神科医が器質的疾患を見落とすことが少なくなれば、企画した者としてこれ以上の喜びはない。